

2024年春季労使交渉状況 最終報告

本調査に関するお問合せ先
愛知県経営者協会（内線 550）
会員サービス部 岡安
名古屋市中区栄 2-10-19 会議所ビル7階
TEL052-221-1931/FAX052-221-1935

愛知県経営者協会では、昭和 39 年(1964 年)から毎年、会員企業を対象に春季労使交渉における賃上げ状況を調査している。調査結果は下記のとおりである。

【調査要領】

- 調査時期 2024年3月1日～6月14日
- 調査・集計対象 本会会員企業 887 社のうち、210 社を対象に、6月14日までに回答のあった 176 社を集計した。(集計は単純集計)

賃上げ妥結平均額 13,370 円^{※1} (アップ率 4.71%)

前年比 +4,101 円^{※2} (+1.41 ポイント)

妥結平均額は過去最高^{※3}

※1 金額不明の 23 社を除いた 153 社の平均 ※2 比較可能な 130 社の平均 ※3 記録が確認できる 1985 年以降の比較

【調査結果のポイント】

- 妥結平均額 13,370 円、アップ率は 4.71%となり、妥結平均額については記録が確認できる 1985 年以降で最高額となった。
(過去のピークは 1991 年の 13,024 円、アップ率 5.61%)
- 規模別では、1,000 人以上で 15,426 円 (5.12%) と 5%を上回った一方、300 人未満では 10,436 円 (3.92%) と 4%を下回り、規模間の格差は拡大した。
- 「定昇とベア (ベースアップ) の区別がある」と回答した 138 社のうち、ベアを回答した企業は、132 社 (前年は 151 社中 130 社) で、ベアの平均額は 8,788 円 (前年 5,491 円) となった。個社ごとのベアの金額をみると、10,000 円以上で妥結した企業が 56 社と、前年の 9 社を大きく上回った。ベアの配分 (複数回答可) については、「一律定額」(68 社) が最も多く、「初任給の引き上げ」(53 社)、「若年層への重点配分」(41 社) が続いた。
- 企業が考慮した要素 (複数回答可) は、「人材確保・定着」(116 社) が最も多く、「物価動向」(98 社)「世間相場」(93 社) が続いている。前年以上に、防衛的な賃上げをした企業が増加したものと考えられる。

過去の妥決推移(最終報)		
	妥結額(円)	アップ率(%)
1990年	13,017	5.89
1991年	13,024	5.61
1992年	11,867	4.91
1993年	9,523	3.81
~~~~~		
2021年	5,117	1.81
2022年	5,533	1.96
2023年	9,363	3.33
2024年	13,370	4.71

以上